

広げよう たすけあいの輪 ビギナー まわら

第5号

〒770-0939
徳島市かちどき橋2丁目28の4
電話 088-626-3237
発行責任者 山口浩志
1999年4月

「あり前」の気持ち

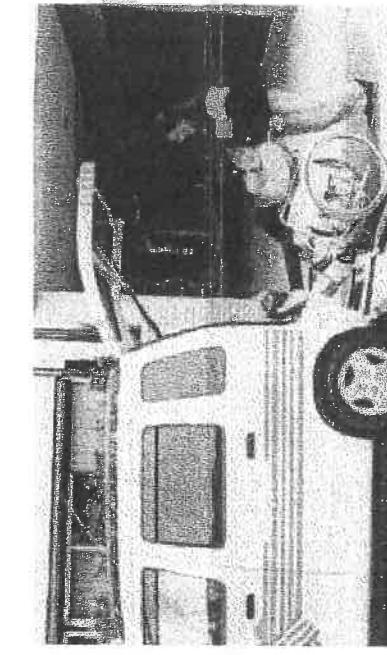
「もしもし、〇〇ですが
明日△△病院まで行きたい
のですが、今度の新しい車
は空いてますか?」
「さん。
お花見に連れて行きたいの
ですが、電動車椅子でも乗
れますか?」
「ひさん。
最近こういった類の問い合わせ
が増えてきました。

「外出」は、一見当たり
前の行為のようですが、そ
れができる人からすると
なかなか実現できず、我慢
したりあきらめたりしてい
ます。

「もじもじ、〇〇ですが
明日△△病院まで行きたい
のですが、今度の新しい車
は空いてますか?」
「さん。
お花見に連れて行きたいの
ですが、電動車椅子でも乗
れますか?」
「ひさん。
最近こういった類の問い合わせ
が増えてきました。

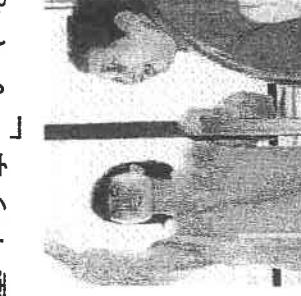
「外出」は、一見当たり
前の行為のようですが、そ
れができる人からすると
なかなか実現できず、我慢
したりあきらめたりしてい
ます。

これからも多くの方にこ
ろいろななだけあいサー
ビスを活用していただけ
れば、と思います。



「好きなことを
生かしてみたい」

ボランティアを始めようと
したきっかけは、「社会に出
たらなかなかできないと思う
ので学生のうちに体験してお
きたいと思って...」と将来
に向かって前向きです。また、
自分自身が好きなので楽
しみます。いやはや、
ボランティアの基盤を体験を通してお
られる川人さん。間違いなく
将来の光る素材でしょう。



川下尚美さん
（文理大学生活科学科
2回生）

「自分の変化に感激！」

竹中猛夫さん
（日本文理大学工学部
工業化学科3回生）



無口でおとなしい性格ですが、
いつも急場しのぎで頼んでも「
いいですよ!」と言葉少なく即
答してくれる竹中さんは、頼り
になるお兄さん。ご自身は「今ま
でやつたことはないけど人生勉強のひと
つのことです。」「元気、元気の者
にはサービスは不要」と心強い言葉であつた。

守安木聖さん
（徳島大学歯学部5回生）

森田雅巳

実はいからみながら、今は三十△才。
本当に生き続けたいと思つてこれ
た私。しかし、年はどうとも、毎日
が、生き甲斐にあふれた地域における・
た老いの日だったら、考へるのは誰も同じだと
思います。この介護保険制度では、その実現
が、着々と進められています。国（厚生省）では、「生き甲

まちかど ライブ

妻にあふれた地域における・
板を掲げていますが、現実的
に保険制度を見てみると、
仕方のない一面を持つています。
うがい、老人サービスです
が、ここでの私の一番の心配
事は、今、現在サービスです
を、楽しまれている利用者の
うち三人に一人はこのサービス
だ、人にはサービスは不要

り、気の合った仲間と風呂に入
るサービスでの一日、こ
の事が本当に不要な事なので
しょうか? 国の方では、そう言つた
年寄りの受け皿は、別の形で
ただ見えてきません。そんなこ
とに見えか
づくくれています。看板などお
ぎで行くには、少し急ぎ足す
のは、私だけでしょうか。

「将来に向けて何かヒントがありそう!!」

現在大学では化学関係の研究に取り組
んでいるそうですが「またひとつ将来へ
の進路選択の幅が広がりそうですよ!」



